

平成29年度工事等事故防止重点対策項目を決定！

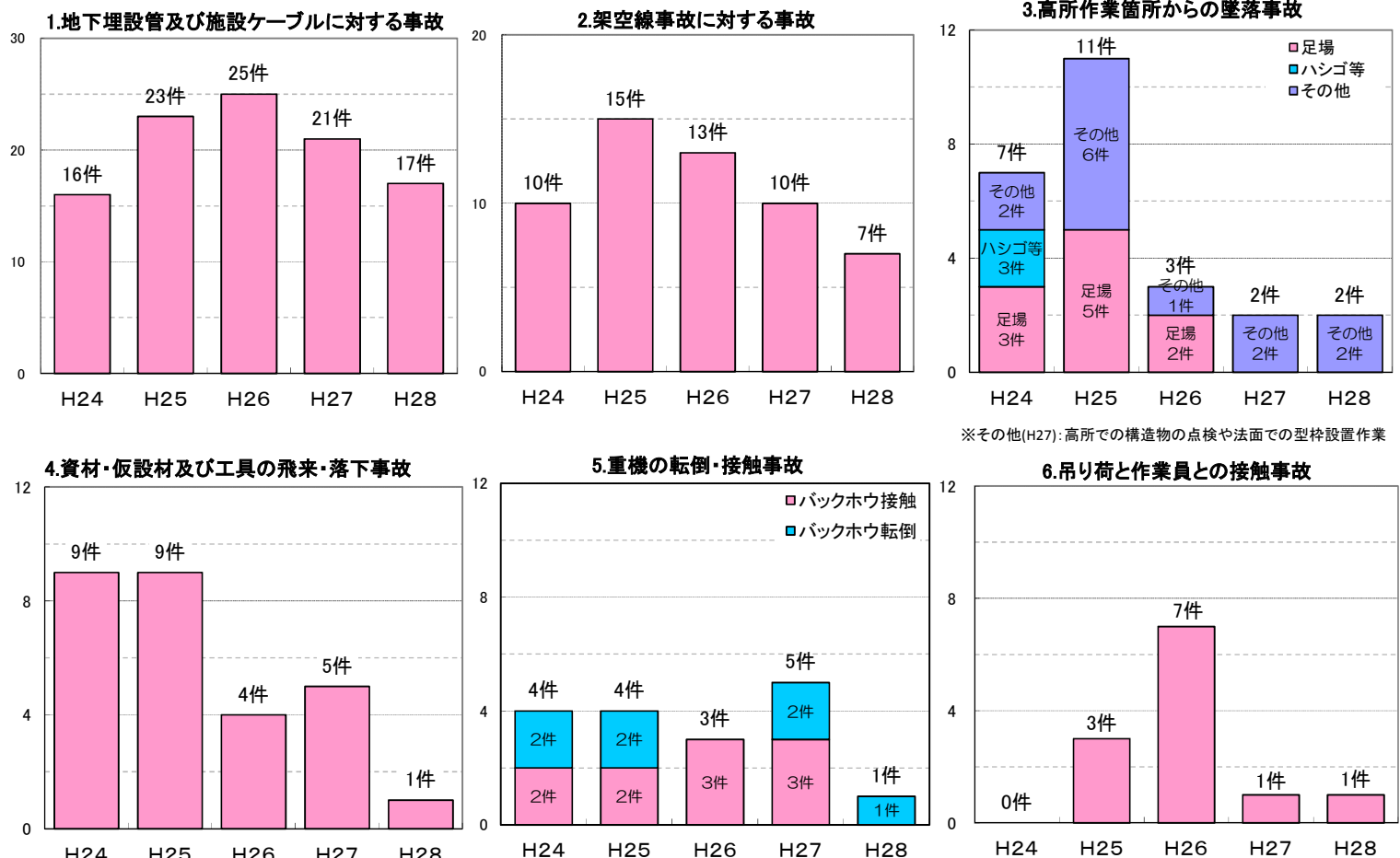
近畿地方整備局では、平成28年度の事故発生状況を踏まえ、平成29年度の工事等事故防止重点対策項目を下記のとおり定めました。事故の撲滅に向け、関係者一丸となって安全対策の徹底をお願いします。

1. 地下埋設管及び敷設ケーブルに対する事故
2. 架空線に対する事故
3. 高所作業箇所からの墜落事故
4. 資材・仮設材及び工具の飛来落下による事故
5. 重機の転倒・接触事故
6. 吊り荷と作業員との接触事故
7. 除草作業における事故



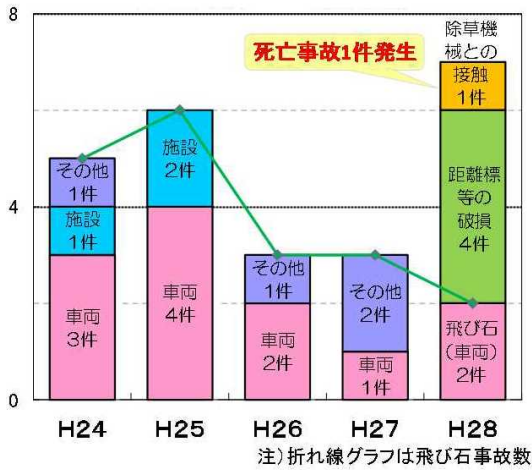
工事等事故防止等重点対策項目の事故防止だけでなく、あらゆる事故のリスクを見定めた現場の安全管理を徹底し、より一層、事故防止への取り組みが必要です。

平成28年度工事等事故防止重点対策6項目における事故件数 (年度推移)



平成28年度重点対策6項目に限定すると事故発生件数は減少傾向にあります。しかしながら、これらの事故は、ひとたび発生すると、人的、社会的に重大な影響を及ぼすおそれがあります。従来から事故防止に取り組んで頂いておりますが、さらに安全対策を徹底し、事故撲滅に努める必要があります。

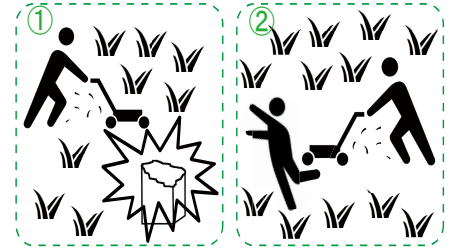
(参考) 除草作業における事故



「草刈り作業時における飛び石事故」は、各現場で安全対策に取り組み、事故件数が縮小したことから、平成27年度に事故防止重点対策項目から除外されました。しかし、除草作業における事故が多発しただけでなく、除草機械との接触により死亡事故が発生しました。

そのため、今年度は「除草作業における事故」として新たに重点項目に追加しました。

- ①草刈り作業時の距離標等の破損事故
- ②ハンドガイド式除草機械との接触
- ③飛び石による事故



等に十分な安全対策を講じましょう。

注意！積荷の荷揺れによる事故発生

【事件事例】

事故概要

現場で発生した伐採木の根(2.25t)を運搬中、交差点で赤信号で一旦停止し、青信号になり発信して左折している時、4tコンテナ車が横転した。

被害の程度

横転による車両損傷

事故原因

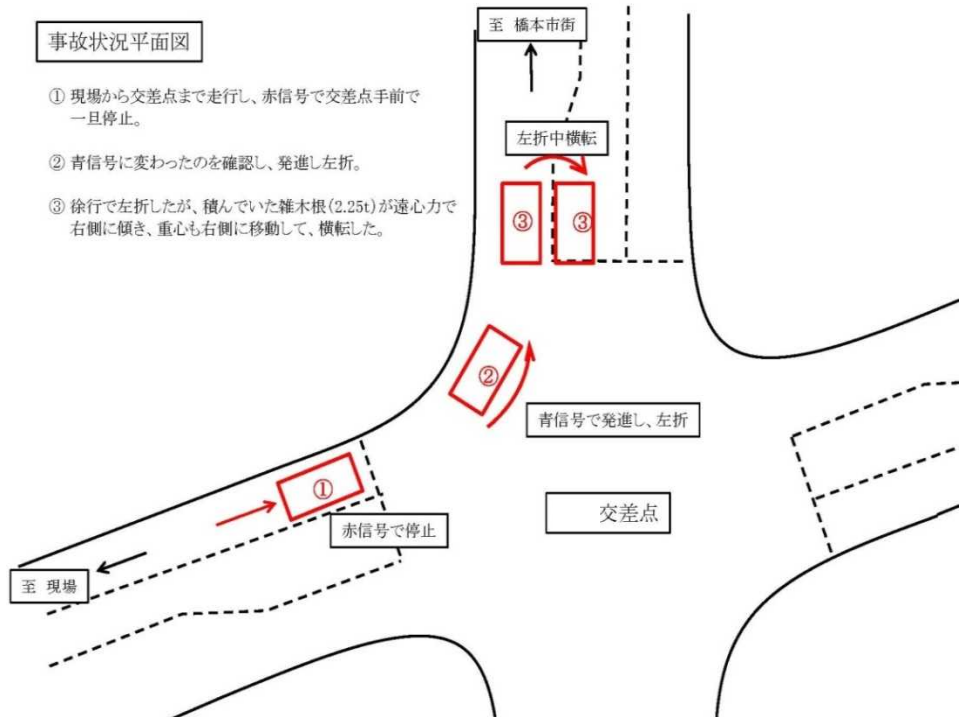
積み荷が不安定な状態のまま、運搬を行った。

事故防止対策

- 運搬前の積み荷の状態を確認徹底
- 運搬物は固縛する。
- 木の根など安定しない物については細断し、安全に運搬できるようにする。

今回はたまたま対向車線に停止車両がなく、受注者の車両が損傷するのみの事故となりましたが、一歩間違えれば公衆損害事故につながりかねない案件でした。

交通ルールを守ることは勿論ですが、積み荷が不安定な状態にならない様にするなど事故防止対策を徹底しましょう。



事故の多くは、ちょっとした油断や手順の省略によって起きるものです。作業効率も大事ですが「安心して働ける現場環境の整備」に努めましょう。